

2035

THE REPORT

(暫定訳)

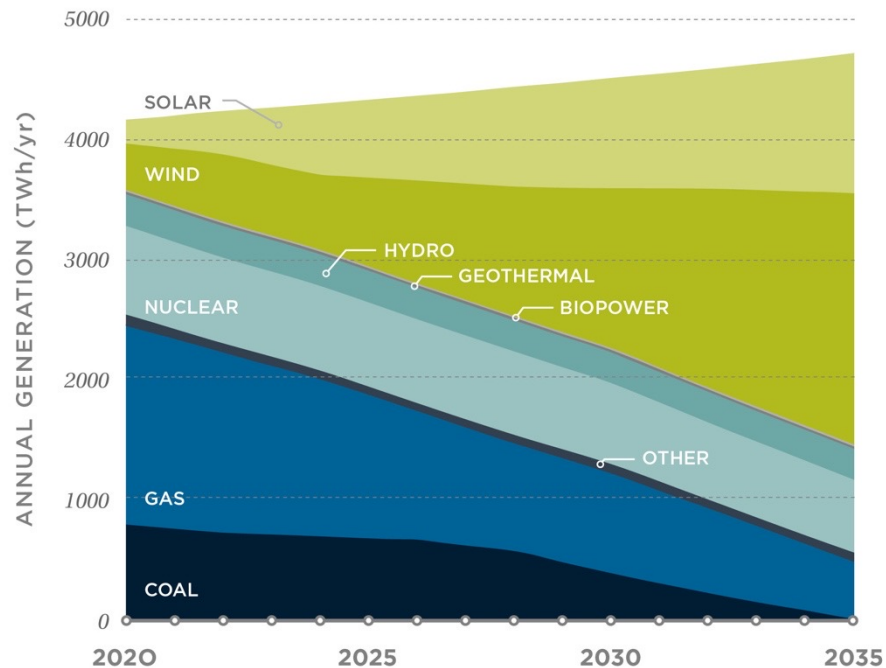
PLUMMETING SOLAR, WIND,
AND BATTERY COSTS
CAN ACCELERATE OUR
CLEAN ELECTRICITY FUTURE

太陽光発電、風力発電、バッテリーの
費用削減がクリーンな電気の未来を加速させる

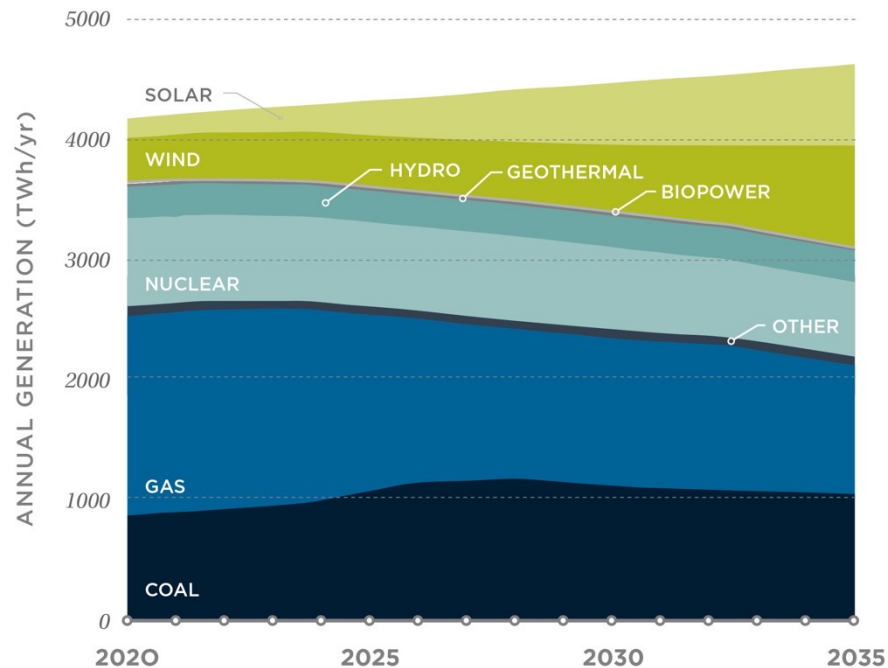
アモール・ファドケ (Ph.D.)
スタッフサイエンティスト
ローレンス・バークレー国立研究所

2035年までに90%のクリーングリッドを実現するためには強力な政策が必要

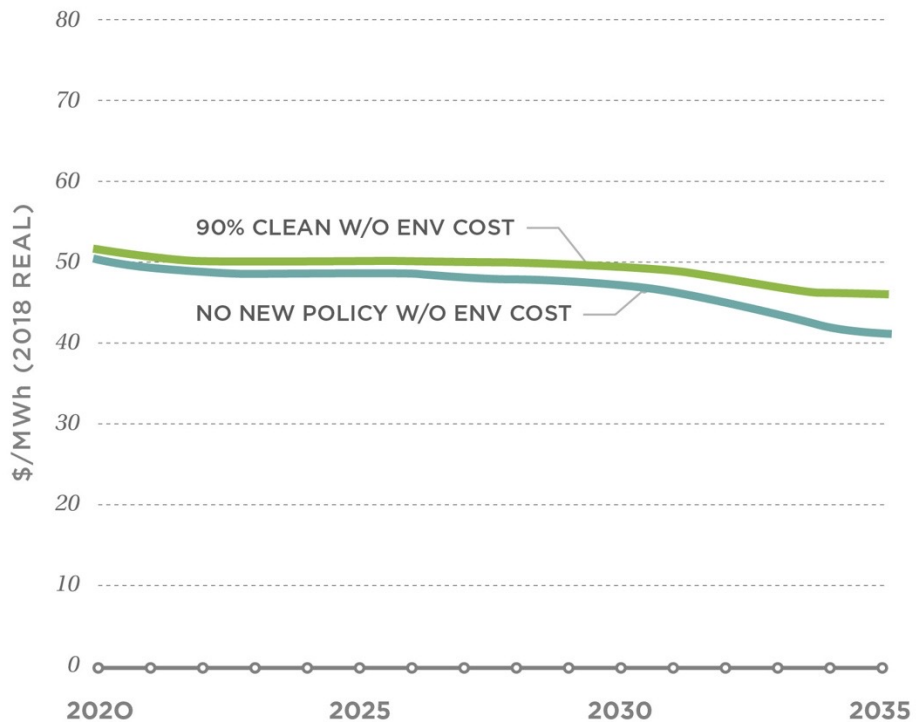
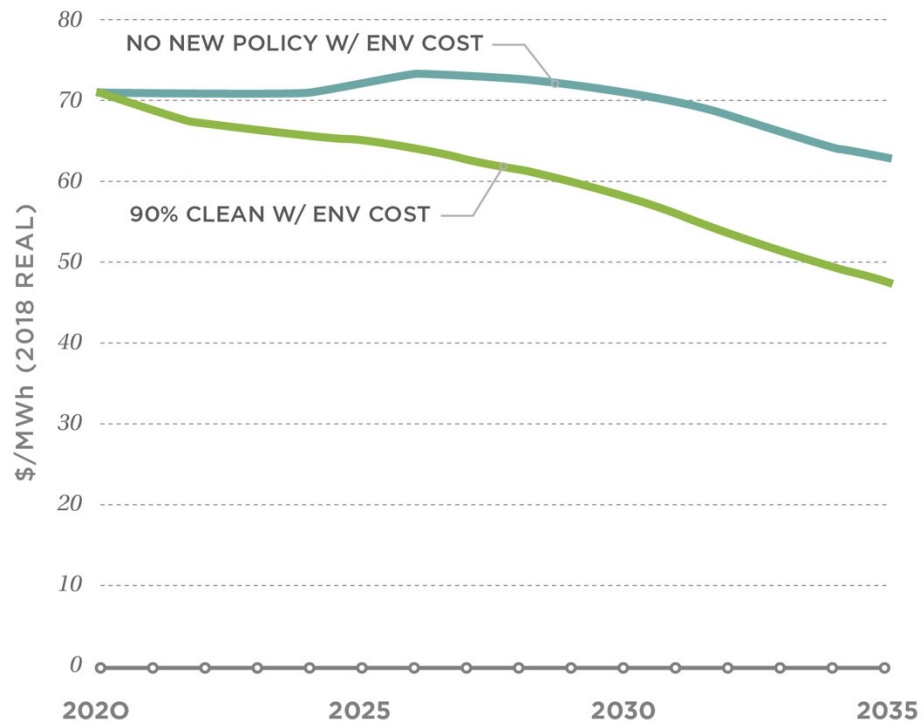
ANNUAL GENERATION | 90% CLEAN



ANNUAL GENERATION | NO NEW POLICY

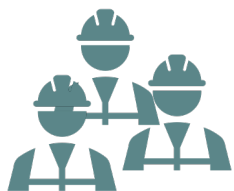
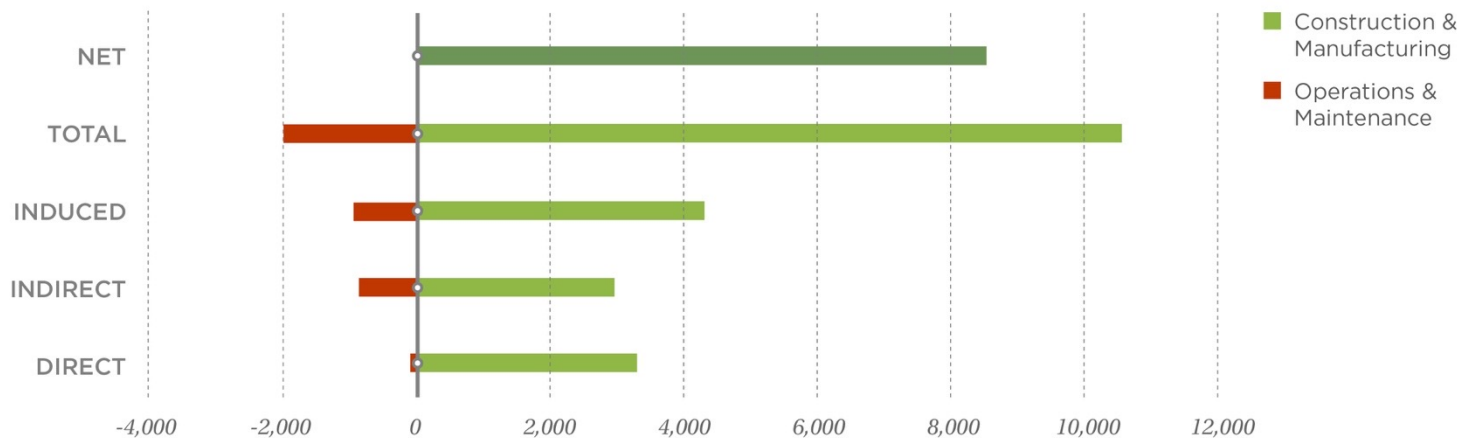


電力費は今より安くなる



エネルギー部門の雇用を大幅に拡大させる

CUMULATIVE JOB YEARS ('000), 90% CLEAN COMPARED TO NO NEW POLICY



既存事業と比べ、2035年までに
毎年50万人多く雇用をサポートできる

CORE PARTNERS

GOLDMAN SCHOOL
OF
PUBLIC POLICY
UNIVERSITY OF CALIFORNIA BERKELEY

GridLAB

ENERGY INNOVATION
POLICY & TECHNOLOGY LLC

2035年 報告書 2.0 電池のコストダウンと飛躍的な向上が 未来のクリーンな輸送実現を加速する



クリーンな電力網で 交通機関の急速な電化を推進

研究内容：最近の電池コストの急速な低下を受け、運輸部門の急速な電動化が消費者、電気インフラ、雇用、排出、公衆衛生に与える影響とは何か？



2030年までに乗用車・トラックの電気自動車販売100%達成を想定して試算



2035年までに中大型車の電気自動車販売100%達成を想定して試算

消費者には2050年までに2.7兆ドルを節約する機会があるが 「5年遅らせること」の機会費用は4,000億ドル

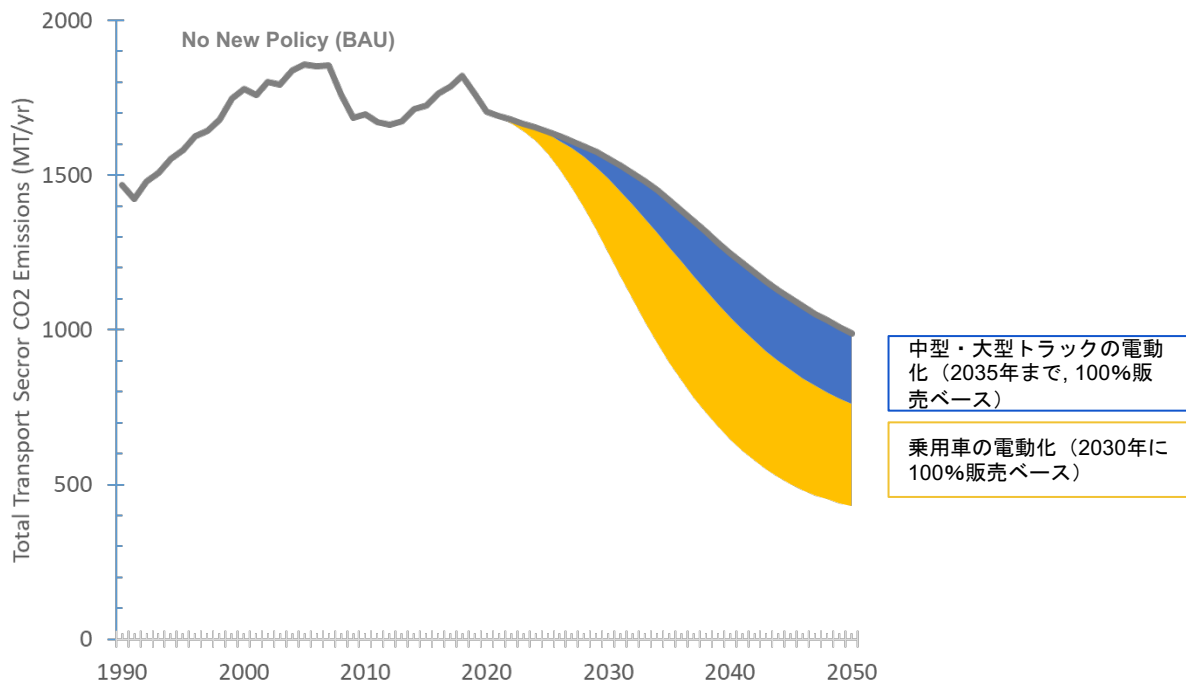
2020年から2050年にかけて、消費者は2兆7000億ドルを節約することができる。
(30年間で年間1,000~2,000億ドル)。

これは平均的な家庭で毎年**1,000ドル節約**できる計算になる。

環境面での効果を含めると、総削減額は4兆ドルを超える

より野心的でないEV目標（乗用車の目標を5年遅らせる）を設定すると4千億ドル以上の消費者節約を先送りすることになる。

2050年までに自動車とトラックからの 排出をゼロにする



陸上輸送の温室効果ガス排出量の減少は:

60% - 2035年までに

93% - 2050年までに

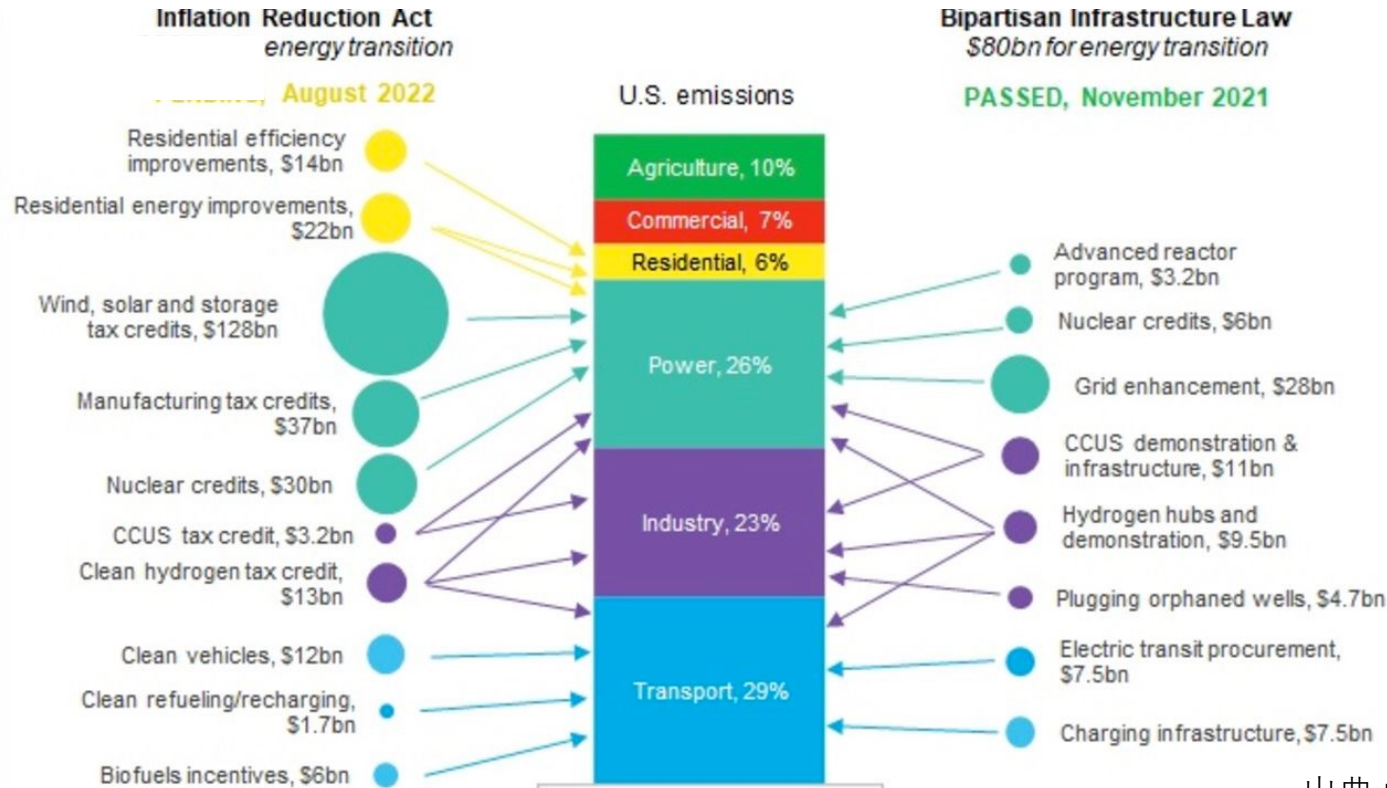
地上交通機関の公害による
早期死亡が減少

56% - 2035年までに

96% - 2050年までに

15万人 - もの死を2050
年までに回避

インフレ抑制法（IRA） + 超党派インフラ法（BIL）： 米国および世界のエネルギーシステムを変える可能性のある 重要かつ積み重ね可能で長期的（～2045年まで）な奨励策



ENERGY
INNOVATION
POLICY & TECHNOLOGY LLC

RICHARD AND RHODA
GOLDMAN SCHOOL
OF
PUBLIC POLICY
UNIVERSITY OF CALIFORNIA BERKELEY

GridLAB

climate
nexus



<https://www.2035report.com>